

第3学年 国語科学習指導案

単元 「教材」	ほうこく書を書こう 「本で調べて、ほうこくしよう」「自分の言葉でまとめる」 (書くこと14 読むこと2 16時間) 2月	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたいことを決め、必要な事柄について、本を読んで調べることができるようにする。 ・書こうとするものの中心や調べたことが明確となるように構成を考え、まとまりに分けて書くことができるようにする。 ・自分の問いを解決するために必要な本や文章を選んで読み、文章を引用したり要約したりして、報告書にまとめることができるようにする。 	
単元の 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・国語への関心・意欲・態度 ・書く能力 ・読む能力 ・言語についての知識・理解・技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたい事柄を決め、進んで調べようとしている。 ・調べたことが明確になるように構成を考え、まとまりに分けて報告する文章を書いている。 ・記録や報告の文章、図鑑や事典などを選んで読み、文章を引用したり要約したりして、自分の報告書にまとめている。 ・表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べている。
<p>【図書館活用との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #FFD700; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">情報モラル</div> <div>○資料などを利用したときには、出典を明らかにする必要があることを知る。 ○一つの情報だけではなく、複数の情報を比較し判断する必要性について理解する。</div> </div> <li style="margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #00FF00; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">課題設定</div> <div>○興味・関心に応じて具体的な学習課題を作る。</div> </div> <li style="margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #00BFFF; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">図書資料の利用</div> <div>○図鑑の特徴や構成を知り、図鑑を利用して課題を解決する。 ○百科事典の構成や使い方を理解し、利用する。</div> </div> <li style="margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #ADD8E6; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">目次・索引の利用</div> <div>○目次や索引を使い、必要な情報を見つける。</div> </div> <li style="margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #ADD8E6; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">要約</div> <div>○必要なところをカードやワークシートなどに箇条書きで要約する。</div> </div> <li style="margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #ADD8E6; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">出典</div> <div>○日付や資料の題名、著者名、出版社名、出版年、該当ページなどを記す。</div> </div> <li style="margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #FFB6C1; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">引用</div> <div>○引用する部分をかぎ(「 」)でくくることが引用部分が適切な量になるようにすることなど、引用の仕方を知り、必要に応じて文章、絵、写真、図表、グラフなどを引用する。</div> </div> <li style="margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #FFB6C1; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">情報の加工</div> <div>○情報からわかったことや解決したこと、考えたことなどについて、構成を工夫して、文章、絵、写真、図表、グラフ、地図などを使ってまとめる。</div> </div> <li style="margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #FFD700; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">情報の表現・伝達</div> <div>○相手や目的に応じて、適切な方法を選んで表現・伝達する。</div> </div> <li style="margin-bottom: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #FF0000; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;">学習活動の評価</div> <div>○学習の過程と結果(内容)について評価する。</div> </div> 		

時	学習活動（ゴシックは、図書館活用ポイントを示す）	評価の重点					評価の視点 （評価の方法）
		関	話	書	読	言	
1	<p>○学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>自分の「ふしぎ」について、本で調べてほうこくしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不思議に思ったり、理由を知りたいと考えたりした事柄を出し合い交流する。 ・調べたことを報告書にまとめて伝えることを知り、報告書の意味を確認する。 ・学習の見通しをもつ。 	○					<p>学習課題を設定し、学習活動について話し合っている。</p> <p>（発言）</p>
2	<p>○自分が調べたいことを具体的に決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようにして課題を決めるのかを知る。 ・5W1Hを使って、自分の興味・関心に応じた具体的な課題を決める。 <p>課題設定</p>			○			<p>5W1Hを使って、調べたいことを具体的に決めている。</p> <p>（発言・ノート）</p>
3	<p>○調べるときに役立つ図書資料について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事典の定義とつくりについて知る。 ・百科事典を使い、いろいろな事柄について調べる。 <p>図書資料の利用 目次・索引の利用</p>			○			<p>事典のつくりについて知り、百科事典の使い方をまとめている。</p> <p>（ノート）</p>
4 5 6	<p>○自分の課題について、百科事典を使って調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百科事典で自分が調べたい事柄を引く。 ・百科事典の解説文を読み、自分の課題に対する答えとなる情報を見つけ、カードに要約して書く。 ・わからない言葉について、辞書を引いたり百科事典で確かめたりする。 ・出典を記す必要性を知り、カードに書く。 <p>情報モラル 図書資料の利用 要約</p>			○	○	○	<p>自分の課題について、百科事典を使って調べ、答えとなる部分を見つけてまとめている。（カード）</p> <p>事典の使い方を理解している。</p> <p>（観察）</p> <p>必要に応じて、語句を辞書で調べている。（観察）</p>
7 8 9	<p>○自分の課題について、図鑑や科学読み物などの図書資料を使って調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2冊以上の資料を使って調べる大切さに気付く。 ・課題解決のために必要な図書資料を探す。 ・図鑑や科学読み物などの図書資料を使って調べ、必要なところをカードに要約して書く。 ・出典を記す。 <p>情報モラル 図書資料の利用 要約 出典</p>			○	○	○	<p>自分の課題について、図鑑や科学読み物などの図書資料を使って調べ、答えとなる部分を見つけてまとめている。（カード）</p> <p>必要な図書を探して読んでいる。（観察）</p> <p>必要に応じて、語句を辞書で調べている。（観察）</p>

10	<p>○報告書の書き方について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書の例を読み，どんなことがどのように書いてあるかまとめる。 			○		<p>報告書の型を知り，報告に必要な事柄をワークシートに書いている。(発言・ワークシート)</p>
11 ・ 12 ・ 13	<p>○調べたカードを整理し，報告書の下書きをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べてわかったことや解決したこと，考えたことなどについて「題名」「はじめに」「分かったこと」「終わりに」などの項目を立て，問いに対する答えを落とさないように書く。 ・引用した部分と自分の考えとを区別して書く。 ・参考にした図書を「使った本」として書く。 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; background-color: #ADD8E6; padding: 5px;">出典</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; background-color: #FFC0CB; padding: 5px;">引用</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; background-color: #FFDAB9; padding: 5px;">情報の加工</div> </div>			○		<p>まとまりに分け，伝えたい事柄を落とさないように記述している。 (下書き)</p>
14 ・ 15	<p>○報告書の下書きを読み合って意見を交流し，清書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書の下書きをグループで交流し合い，よいところや気付いたことを交流する。 ・引用した部分と自分の考えが区別して書かれているか，難しい言葉を自分の言葉に直して書かれているかなどを確認する。 ・丁寧に清書する。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; background-color: #FFD700; padding: 5px;">情報の表現・伝達</div> </div>			○		<p>報告書に必要な事柄を確かめながら友だちの報告書を読み，アドバイスを活かして清書している。 (発言・報告書)</p>
16	<p>○完成した報告書を読み合って，お互いのよいところを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの報告書を読み，よいところを見つけ伝え合う。 ・単元を振り返り，自分の調べ方の過程と報告書の内容について自己評価する。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; background-color: #DC143C; padding: 5px;">学習活動の評価</div> </div>			○		<p>友だちの報告書を読み，感想を交流している。 (発言・評価カード)</p>

【本時の目標】

学習課題を設定し，学習活動について話し合うことができるようにする。

【本時の展開】(1/16 時)

ゴシックは，図書館活用ポイントを示す

学 習 活 動	*支援 ○留意点	評価の視点 (評価の方法)
<p>○不思議に思ったり，理由を知りたいと考えたりした事柄を出し合う。</p> <p>○学習課題を知り，学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 自分の「ふしぎ」について，本で調べてほうこくしよう </div>	<p>*「ふしぎだな」「なぜかな」「知りたいな」などのつぶやきを掲示することで，これまでの経験が思い出せるようにする。</p>	
<p>○不思議に思ったり理由を知りたいと考えたりしたとき，どのような方法で解決したことがあるか思い出し，今回の学習では本で調べる方法をとることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人に聞く ・本で調べる ・実験する ・見学に行く <p>○調べたことを報告書にまとめて伝えることを知り，報告書の意味を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典で調べてみよう <p>○これからの学習の見通しをもち，学習のまとめをする。</p>	<p>*「本で」と「ほうこく」の部分は隠して提示することで，意欲を高めながら学習計画を立てることができるようにする。</p> <p>○学習課題の「本で」の部分を提示する。</p> <p>○学習課題の「ほうこく」の部分を提示する。</p> <p>*学習の流れに沿って番号を打つことで，これからの学習の見通しがもてるようにする。</p>	<p>関 学習課題を設定し，学習活動について話し合っている。 (発言)</p>

<p>自分の「ふしぎ」について、本で調べてほうこくしよう。</p>	<p>1 ふしぎに思うことを見つける。</p>	<p>ふしぎだな</p> <p>なぜかな</p> <p>知りたいな</p>	<p>2 答えを見つけるために調べる。</p>	<p>3 調べたことをほうこく書にまとめて伝える。</p>	<p>ほうこく書：</p>
-----------------------------------	-----------------------------	---------------------------------------	-----------------------------	-----------------------------------	---------------

- 人に聞く
- ◎ 本で調べる
- 実験する
- 見学に行く

どのように
＜方法・仕組み＞

いつ
＜時, 始まりや起こ
り, れきし＞

どこで
＜場所＞



ふしぎワードを使って

なぜ
＜理由＞

何・どんな
＜形, せいしつ, は
たらき＞

だれが
＜人物＞

めよう。
ふしぎに思うことを出し合い、調べることを決

自分の「ふしぎ」について、本で調べてほうこ
くしよう。

【本時の目標】

事典のつくりについて知り，百科事典の使い方を理解することができるようにする。

【本時の展開】(3/16時)

ゴシックは図書館活用ポイントを示す

学 習 活 動	*支援 ○留意点	評価の視点 (評価の方法)
<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="220 450 1078 512" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>調べるときに役立つ本について知ろう。</p> </div> <p>○今日使う図書資料は「百科事典」という本であることを知り，事柄が五十音順に並んでいることを確認する。</p> <p>○百科事典を使って，クイズプリントに書かれた事柄が何巻の何ページに載っているか調べる。</p> <p>○国語辞典と百科事典を比べ，同じところや違うところを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典と同じように，あいうえお順に並んでいる。 ・百科事典は，索引だけで一冊になっている。 ・百科事典は何冊かに分かれている。 ・百科事典は写真が多い。 ・百科事典は青い字の部分がある。 <p>○事典の定義とつくりについて知る。</p> <p>◎事典はいろいろな事物を見出し語として立て，説明した本</p> <p>◎「背」「つめ」「はしら」について</p> <p>◎索引について</p> <p>◎「→」の意味</p> <p>◎正式名称での検索</p>	<p>○国語辞典を一人に一冊，百科事典をグループに1セット用意しておく。</p> <p>*クイズプリントを5種類用意することで，調べる事柄が重なるのを防ぐようにする。</p> <p>○早く終わった場合は，調べた事柄に書かれていることをじっくり読むよう伝える。</p> <p>*4月に学習した国語辞典と比べることで，事典の特性に気付くことができるようにする。</p> <p>*「国語辞典のつかい方」で学んだことを思い出すことで，百科事典のつくりをより理解できるようにする。</p> <p>○索引については，別巻になっている場合があることをおさえる程度にとどめる。</p>	

提示資料①

(「デンデンムシ」の場合、「カタツムリ」で引く)

○百科事典を使い、いろいろな事柄について調べる。

「ポプラディア総合百科事典
版クイズプリント (A) ~ (E)」
は京都市総合教育センター研究
課 Web サイト 研究内容と成果物
からダウンロードしてください。
<http://www.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/kenkyu/index.html>

○学習のまとめをする。

目次・索引の 利用

目次や索引を使い、必要な情報を見つける。

*クイズに答えるために調べたり、調べる事柄を友だち同士で決めたりすることで、検索することに慣れることができるようにする。

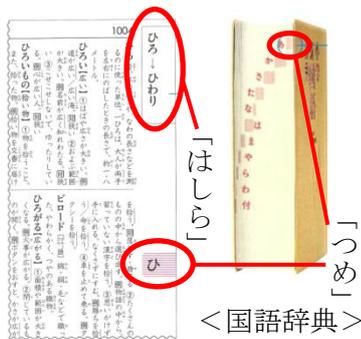
図書資料の 利用

百科事典の構成や使い方を理解し、利用する。

書

事典のつくりについて知り、百科事典の使い方をまとめている。
(ノート)

【板書計画】



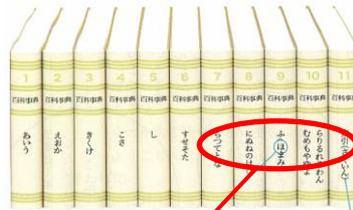
<国語辞典>

- ・ 1 さつ
- ・ さく引がない
- ・ 写真が少ない

<同じところ>

- ・ 五十音順にならんでいる
- ・ 「つめ」や「はしら」がある

百科事典の1ページを拡大したもの



「背」

<百科事典>

- ・ 何さつかに分かれている
- ・ さく引がある
- ・ さく引だけで1さつ
- ・ 写真が多い
- ・ 青い字の部分がある

調べるときに役立つ本について知ろう。

自分の「ふしぎ」について、本で調べてほしいよう。

ポプラディア総合百科事典で『チャーシュー』を引くと、「→焼き豚」と記載されています。これは、「『焼き豚』で引いてください」という意味です。『焼き豚』を引くと、チャーシューと焼き豚は同じものであることや、その定義がわかるようになっています。

チャーシュー ⇔ ^や焼き^{ぶた}豚

チャーチストうんどう チャーチスト運動

^{せい}19世紀前半、^{ふつうせんきょ}普通選挙^{じつげん}の実現をめ

^{ろうどうしゃ}ざしたイギリス労働者の政治運動。

^{さんぎょうかくめい}産業革命により多くの工場が生

『総合百科事典ポプラディア』7巻54ページ

やきぶた 焼き豚

^{ぶたにく}豚肉のかたまりを、しょうゆな

どの^{ちょうみりょう}調味料^つでつくった^{じる}漬^じけ汁

に^つ漬^やけ、あぶり^{ちゅうごく}焼きした^{ちゅうごく}中国

^{りょうり}料理。チャーシューともいう。

『総合百科事典ポプラディア』11巻12ページ

この実践授業では、グループに1セットずつ、合計6セットの百科事典を用意しました。しかし、百科事典は各学校で1~2セットの配架が一般的だと思います。多くの百科事典を集められない場合でも、全ての子どもたちが百科事典に触れ、学習することができるように、次のような工夫を考えました。1巻から11巻までのクイズプリントについては、京都市総合教育センター研究課Webサイト [研究内容と成果物](http://www.educity.kyoto.jp/sogokyoiku/kenkyu/index.html) からダウンロードしてご活用ください。

<http://www.educity.kyoto.jp/sogokyoiku/kenkyu/index.html>

【 百科事典が1セットの場合 】

1クラスが34人以上の場合は、4人で1班となるので、2セット用意することができるかと活動しやすい。

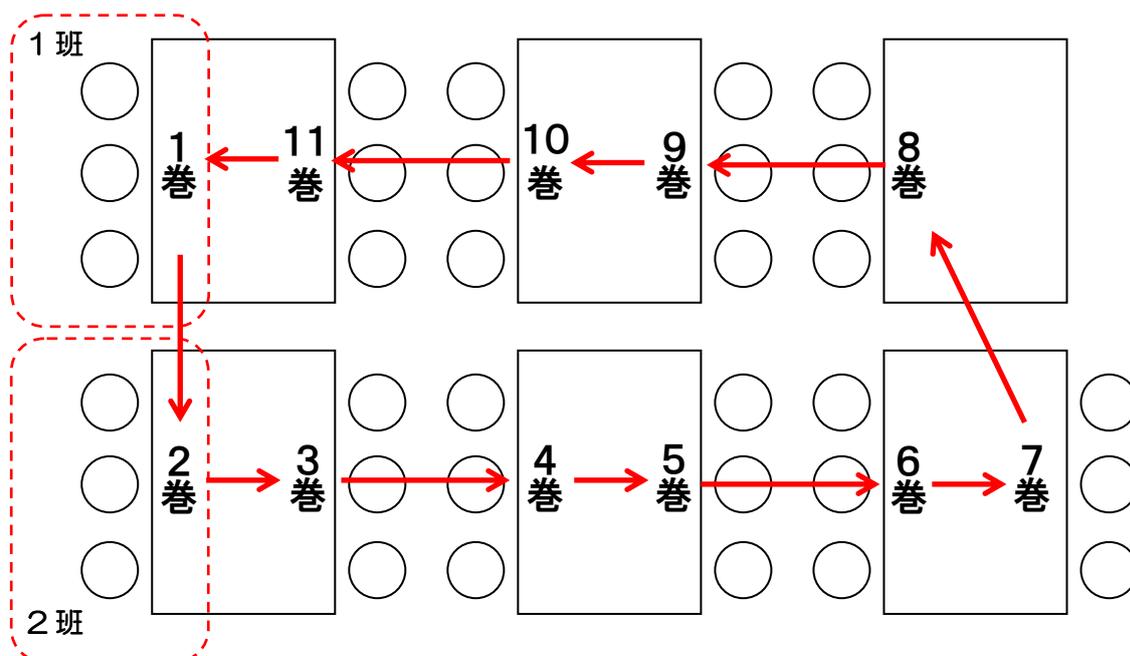
○3人で1班とする。

○1巻から11巻までのクイズプリントを用意し、封筒に入れるなどして机に準備しておく。

○1班の場合、まず最初は百科事典1巻の中から見出し語を探す活動を行う。授業後半では2班の場所へ移動し、2巻の問題に答える活動を行う。全ての班が一つ大きい数字の場所へ移動することになるが、11班だけ1班の場所へ移動する。

※クラスの実態や図書館の環境によって移動がしにくい場合は、百科事典を回す。その場合、クイズプリントが入った封筒も同時に回すとよい。

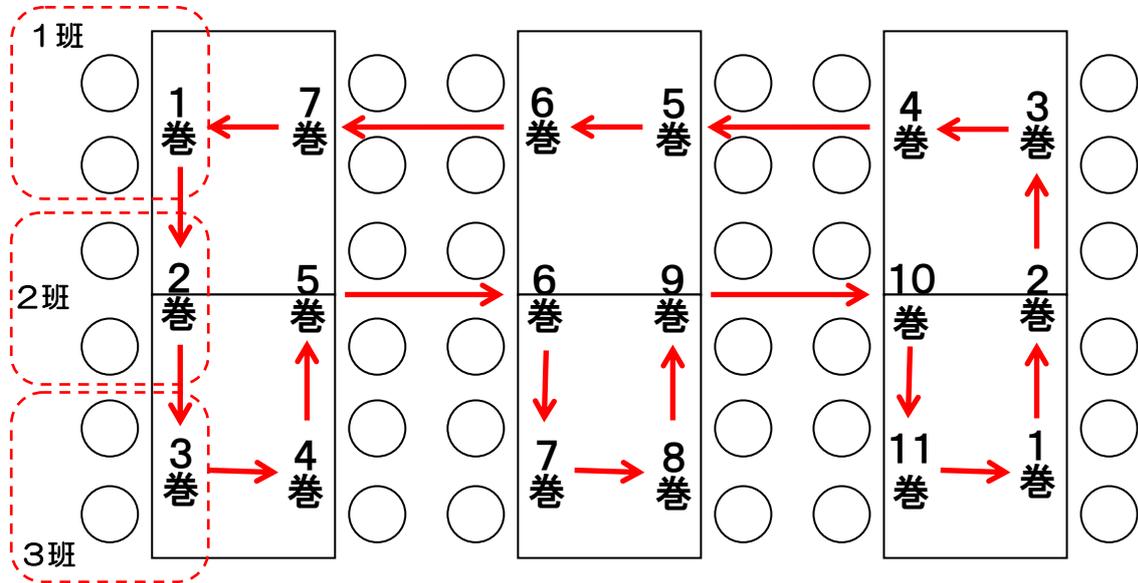
○3人で協力して活動を行うが、全員が百科事典に触れることができるように、1問ずつ百科事典を引く人を交代していくことにする。クイズを6問以上用意することで、1人2回は自分で事典を引く体験ができることになる。



【 百科事典を2セット用意できる場合 】

○2人で1班とする。

○クイズを6問とすると1人3回は自分で事典を引く体験ができる。クイズを4問とし、1人2回引くことにすると、3か所を回る（2回百科事典を回す）こともできる。



【本時の目標】

自分の課題について百科事典を使って調べ、答えとなる部分を見つけてカードにまとめることができるようにする。

必要に応じて、意味のわからない語句を国語辞典や百科事典で調べることができるようにする。

【本時の展開】(4, 5, 6/16 時)

ゴシックは図書館活用ポイントを示す

学 習 活 動	*支援 ○留意点	評価の視点 (評価の方法)
<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 百科事典で調べて自分の「ふしぎ」の答えを見つけ、カードに書こう。 </div> <p>○百科事典に書かれていることの中から、自分の「ふしぎ」に対する答えとなる部分を探し、どのようにカードにまとめたらいいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふしぎ」の答えとなる部分を探す。 ・わからない言葉は、国語辞典や百科事典で確かめる。 ・調べてもわからない言葉や難しい言葉は読みとばしてもよい。 ・短い文章で書く。 ・友だちに説明できる言葉で書く。 ・一枚のカードには一冊の本で調べたことだけ書く。 <p>○出典を記す必要性や記し方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの本で調べたかが、報告書を読んだ人にわかるように記す。 ・後でもう一度調べたいときに、どの本を使ったのかわかるように記す。 ・表紙や奥付を見て書く。 ・筆名は「著」「監修」、出版社名は「発行所」と表現されている場合がある。 	<p>*百科事典などの文章を例に出すことにより、カードへの要約の仕方が具体的にイメージできるようにする。</p> <p>*奥付の例を拡大したものを提示することにより、自分の力で出典を記すことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #ffff00; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">情報モラル</p> <p>資料などを利用したときには、出典を明らかにする必要があることを知る。</p> <p>要約のための文章例や奥付の例、カードについては、京都市総合教育センター研究課 Web サイト 研究内容と成果物 からダウンロードしてください。</p> <p>http://www.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/kenkyu/index.html</p> </div>	

<p>○百科事典で自分が調べたい事柄を引く。</p> <p>○百科事典の解説文を読み、自分の課題の答えとなる情報を見つけ、カードに要約して書く。</p> <p>○出典の記し方に合わせて、カードに出典を記す。</p> <p>○学習のまとめをする。</p>	<p>図書資料の利用</p> <p>百科事典の構成や使い方を理解し、利用する。</p> <p>○一枚のカードには一冊の本で調べたことだけ書くことを確認する。</p> <p>要約</p> <p>必要なところをカードやワークシートなどに箇条書きで要約する。</p>	<p>読</p> <p>事典の使い方を理解している。 (観察)</p> <p>書</p> <p>自分の課題について百科事典を使って調べ、答えとなる部分を見つけてまとめている。(カード)</p> <p>言</p> <p>必要に応じて、語句を辞書で調べている。 (観察)</p>
--	--	--

【板書計画】(4, 5, 6/16 時)

<p>図書資料の文章例</p>	<p>カード</p>	<p>け、カードに書こう。 百科事典で調べて自分の「ふしぎ」の答えを見つけ</p>	<p>自分の「ふしぎ」について、本で調べてほしいよう。</p>
<p>奥付の例</p>			

【本時の目標】

自分の課題について、図鑑や科学読み物などの図書資料を使って調べ、答えとなる部分を見つけてまとめることができるようにする。

必要に応じて、意味のわからない語句を国語辞典や百科事典で調べるができるようにする。

【本時の展開】(7, 8, 9/16時)

学 習 活 動	*支援 ○留意点	評価の視点 (評価の方法)
<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>図鑑や科学読み物などの本で調べて自分の「ふしぎ」の答えを見つけ、カードに書こう。</p> </div> <p>○2冊以上の資料を使って調べる大切さを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの情報だけでは、書かれていることが本当のことかどうかわからない。 ・2冊以上の資料を使って調べれば、正しい情報かどうか判断できる。 <p>○課題解決のために必要な図書資料を探す。</p> <p>○図鑑や科学読み物などの図書資料を使って調べ、必要なところをカードに要約して書く。</p> <div style="border: 2px solid yellow; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>要約のための文章例や奥付の例、カードについては、京都市総合教育センター研究課 Web サイト 研究内容と成果物 からダウンロードしてください。 http://www.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/kenkyu/index.html</p> </div>	<p>*図書資料などの情報は、著者によって様々な考え方があることを伝えることにより、複数の情報を比較し判断しようという意欲をもつことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid yellow; border-radius: 50%; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>情報モラル</p> </div> <p>一つの情報だけではなく、複数の情報を比較し判断する必要性について理解する。</p> <p>*百科事典を使って調べたときの要約の仕方を思い出すよう助言することにより、情報から必要なところだけをまとめることができるようにする。</p> <p>○百科事典を使って調べたときと違う色のカードを用意する。</p> <p>○一枚のカードには一冊の本で調べたことだけ書くことを確認する。</p> <p>*2冊目は○色のカード、3冊目は○色のカードと決めることにより、図書資料を何冊使って調べたかがわかるようにする。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>図書資料の利用</p> </div>	<p>読</p> <p>必要な図書を探して読んでいます。(観察)</p> <p>書</p> <p>自分の課題について図鑑や科学読み物などの図書資料を使って調べ、答えとなる部分を見つけてまとめている。(カード)</p> <p>言</p> <p>必要に応じて、語句を辞書で調べています。(観察)</p>

【本時の目標】

報告書の型を知り、報告に必要な事柄についてまとめることができるようにする。

【本時の展開】(10/16時)

ゴシックは図書館活用ポイントを示す

学 習 活 動	*支援 ○留意点	評価の視点 (評価の方法)
<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ほうこく書の書き方について考えよう。</div> <p>○報告書の例を読み、どんなことがどのように書いてあるかまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「題名」は「ふしぎ」がそのまま書いてある。 ・「はじめに」には調べることにした理由が書いてある。 ・「分かったこと」は箇条書きでまとめている。 ・「終わりに」には調べる活動を通して考えたことや感想が書いてある。 ・使った本の題名、筆者名、出版社、発行年を書く。 <p>○学習のまとめをする。</p>	<p>*ワークシートに気付いたことや大切なことを書きこむことにより、報告書を書くときの参考になるようにする。</p> <p>○次時には、本時で学習した報告書の書き方を参考に自分で報告書を書いていくことを伝え、次時への意欲を高める。</p>	<p>書</p> <p>報告書の型を知り、報告に必要な事柄についてワークシートに書いている。(発言・ワークシート)</p>

【板書計画】(10/16時)

<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">題名</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">はじめに</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">分かったこと</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">終わりに</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">使った本</div>	<p>※問いをそのまま書く</p> <p>←調べることにした理由 調べた方法</p> <p>←調べて分かったこと</p> <p>※かじょう書き</p> <p>←考えたこと、感想</p> <p>←使った本の題名、筆者名、出版社、発行年</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ほうこく書の書き方について考えよう。</div> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 自分の「ふしぎ」について、本で調べてほうこくしよう。 </div>
---	--	--

自分の「ふしぎ」について、
本で調べてほうこくしよう

3年 組

<めあて>

なぜ、お正月におせちりょうりを食べるのか

3年2組 謎田 わかる

はじめに

ぼくは、なぜ、お正月におせちりょうりを食べるのかについて調べることにした。調べたいと思ったわけは、まい年お正月になると、お母さんがおせちりょうりを作っているのがふしぎだなと思ったからだ。調べた方法は、図書館で見つけた「人のくらしの大百科」「百科事典ポプラディア」という本を使って調べた。

分かったこと

- ①おせちりょうりは、お正月の神さまにおそなえするために作る。
- ②かぞくが一年間しあわせにくらせることをねがって食べる。
- ③お正月をおいおいするために食べる。

終わりに

お正月におせちりょうりを食べるのは、お正月の神さまにおそなえしたり、お正月をおいおいしたりするためということが分かった。お母さんも、まい年かぞくがしあわせにくらせるように、心をこめて作ってくれているのかなと思った。

おせちりょうりについて本で調べて、今年のおせちりょうりを食べるのが楽しみになった。

使った本

「人のくらしの大百科」 京都ゆめ子 キッズ社 2010年
「百科事典ポプラディア」 ポプラ社 2008年

【本時の目標】

調べたことが明確になるように、まとまりに分けて報告する文章を書くことができるようにする。

【本時の展開】(11, 12, 13/16 時)

ゴシックは図書館活用ポイントを示す

学 習 活 動	*支援 ○留意点	評価の視点 (評価の方法)
<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="177 454 1121 560" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「ふしぎ」の答えが分るように、まとまりに分けてほうこくする文章を書こう。</p> </div> <p>○前時の学習を振り返り、調べたカードを整理して見直しをもつ。</p> <p>○調べてわかったことや解決したこと、考えたことなどについて「題名」「はじめに」「分かったこと」「終わりに」などの項目を立て、問いに対する答えを落とさないように、報告する文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引用した部分と自分の考えとを区別して書く。 ・参考にした図書を「使った本」として書く。 <p>○学習のまとめをする。</p>	<p>*前時の報告書の例を提示することで、報告書の構成を思い出せるようにする。</p> <p>*第14時の「読む視点」を先に示すことで、書くときに気を付けることが意識できるようにする。</p> <div data-bbox="715 947 895 1010" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; background-color: #ADD8E6; text-align: center; padding: 2px;"> <p>出典</p> </div> <p>日付や資料の題名、著者名、出版社名、出版年、該当ページを記す。</p> <div data-bbox="715 1137 895 1200" style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; background-color: #FFC0CB; text-align: center; padding: 2px;"> <p>引用</p> </div> <p>引用する部分をかぎ(「 」)でくくるとことや引用部分が適切な量になるようにすることなど、引用の仕方を知り、必要に応じて文章、絵、写真、図表、グラフなどを引用する。</p> <div data-bbox="715 1480 895 1543" style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; background-color: #FFC0CB; text-align: center; padding: 2px;"> <p>情報の加工</p> </div> <p>情報からわかったことや解決したこと、考えたことなどについて、構成を工夫して、文章、絵、写真、図表、グラフ、地図などを使ってまとめる。</p>	<p>書</p> <p>まとまりに分け、伝えたい事柄を落とさないように記述している。(下書き)</p>

【板書計画】(11, 12, 13/16時)

題名

はじめに

分かったこと

終わりに

使った本

「ふしぎ」の答えが伝わるように、まとまりに分けてほくくする文章を書こう。

自分の「ふしぎ」について、本で調べてほくくしよう。

【本時の目標】

報告書に必要な事柄を確かめながら友だちの報告書を読み、アドバイスを活かして清書ができるようにする。

【本時の展開】(14, 15/16時)

ゴシックは図書館活用ポイントを示す

学 習 活 動	*支援 ○留意点	評価の視点 (評価の方法)
<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="177 454 1121 560" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ほうこく書の下書きを読み合い、友だちのアドバイスをいかして清書しよう。</p> </div> <p>○報告書の下書きをペアまたはグループで読み合い、よいところや気付いたことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎項目を立て、まとまりに分けて書かれているか。 ◎問いに対する答えがわかるか。 ◎引用した部分と自分の考えが区別して書かれているか。 ◎難しい言葉はないか。 ◎漢字の間違いはないか。 ◎「使った本」が書かれているか。 <p>○よいところや気付いたことを全体で交流する。</p> <p>○友だちのアドバイスを活かして、丁寧に清書する。</p> <p>○学習のまとめをする。</p>	<p>*読む視点を示すことにより、誤字脱字や構成、引用の仕方などについてお互いに確認できるようにする。</p> <div data-bbox="711 1361 895 1424" style="border: 1px solid orange; border-radius: 50%; background-color: #f4a460; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;"> <p>情報の表現・伝達</p> </div> <p>相手や目的に応じて、適切な方法を選んで表現・伝達する。</p>	<p>書</p> <p>報告書に必要な事柄を確かめながら友だちの報告書を読み、アドバイスを活かして清書している。 (発言・報告書)</p>

自分の「ふしぎ」について、本で調べてほしいよう。

ほうこく書の下書きを読み合い、友だちのアドバ
イスをいかして清書しよう。

『読む視点』

よいところや気付いたところ

【本時の目標】

友だちの報告書を読み，感想を交流することができるようにする。

【本時の展開】 (16/16 時)

ゴシックは図書館活用ポイントを示す

学 習 活 動	*支援 ○留意点	評価の視点 (評価の方法)
<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>かんせいしたほうこく書を読み，感そうを伝え合おう。</p> </div> <p>○完成した報告書を読み合っ，お互いのよいところを見つけて伝え合。</p> <p>○単元を振り返り，自分の調べ方の過程と報告書の内容について自己評価する。</p> <p>○学習のまとめをする。</p>	<p>○感想カードを用意し，よいところや読んだ感想を書いて交流できるようにする。</p> <p>○単元の振り返りカードを用意する。 *報告書の内容だけではなく，調べ方の過程についても振り返ることにより，自分に身に付いた調べ方を実感できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px auto;"> <p>学習活動の 評価</p> </div> <p>学習の過程と結果（内容）について評価する。</p>	<p>書 友だちの報告書を読み，感想を交流している。 (発言・感想カード)</p>

【板書計画】 (16/16 時)

	<p>単元の振り返りカード</p>	<p>おう。 かんせいしたほうこく書を読み，感そうを伝え合</p>	<p>自分の「ふしぎ」について，本で調べてほしいよう。</p>
--	-------------------	---------------------------------------	---------------------------------

ふりかえりカード

年 組

学習のしかたのふりかえり

★学習のしかたをふりかえりましょう。どんなことができるようになりましたか。

1, 「なぜ」「どのように」などのふしぎワードを使って, 調べたいことを決めることができましたか。	◎ ○ △
2, 百科事典が五十音順にならんでいることや, 「せ」「つめ」「はしら」がどのぶぶんなのかわかりましたか。	◎ ○ △
3, 百科事典を使ってクイズに答えることができましたか。	◎ ○ △
4, 自分の「ふしぎ」の答えをさがし, ひつようなところだけをカードにまとめることができましたか。	◎ ○ △
5, 調べた本の題名や, ひっ者名, 出版ん社, 発行年をメモすることができましたか。	◎ ○ △
6, 「ふしぎ」の答えがつたわるように, まとまりに分けてほうこく書を書くことができましたか。	◎ ○ △

学習のめあてのふりかえり

★今回の国語は本で調べてほうこくする学習をしました。あなたの書いたほうこく書のないようについてふりかえりましょう。どのようなところがよくできましたか。また, もう少しくふうがひつようだと感じたことはありましたか。
